

市内の小中学校の児童・生徒の通知表記載誤り等について

1 今回の通知表記載誤りに関わる経過

去る10月13日(木)に、読売新聞の記者から市教育委員会に対して、通知表に記載誤りがあるかどうかの取材があり、教育委員会では、昨年度及び今年度前期において、事例があった旨を回答した。

翌14日(金)、読売新聞に記事として掲載されたため、記者クラブから情報提供をしてほしいとの申し入れがあり、同日中に昨年度の2校(早川小学校・富士見小学校)と、既に事故報告が上がっていた今年度前期分の城北中学校の計3校について、情報提供した。

学校に対しては、同日、教職員担当課長名で、通知表のチェック体制強化についてと、万が一、通知表誤記入等が発覚した場合は、早急に市教育委員会へ報告するよう、至急文書で通知した。

10月18日(火)までに全ての小中学校を確認したところ、新たに7校から報告があり、先に発表した3校を含め、合計10校、延べ179人の児童・生徒の通知表記載誤りが判明した。そこで、一連の公表を10月20日(木)に行った。

10月24日(月)の教育委員会と校長会との連絡調整会議後、全校で、通知表の総点検を行い、11月8日(火)までに、新たに20校、特別支援学級を含む、延べ320人の児童・生徒の通知表記載誤りが教育委員会に報告された。これにより、これまでの公表分を含め、合計23校、延べ499人の児童・生徒の通知表記載誤りが判明し、点検結果の公表を11月9日(水)に行った。

2 通知表作成の流れ

(1) 通知表に記載されている項目

- ・児童・生徒氏名 ・校長氏名・担任氏名 ・各教科の観点別学習評価と評定
- ・特別活動の記録(学級での係、児童会・生徒会活動、部活動など)
- ・総合的な学習の時間の記録
- ・出欠席の記録(忌引、出席停止、欠席・遅刻・早退) ・学級担任の所見

(2) 通知表の作成手順と点検

【小学校】

- ① 担任・教科担当は、日常の授業やテスト・作品などをもとに児童一人ひとり

の評価資料を作成し、評価・評定を決定する。

- ② 児童一人ひとりの評価資料を基に、それぞれの児童の評価・評定を学年内で確認しあう。
- ③ 担任は、評価・評定や特別活動の記録、出欠席の記録などを通知表作成ソフトに入力する。これをプリントアウトしたものが原簿となる。
- ④ 原簿をもとに、適正に評価・評定されているかを、管理職が確認する。
- ⑤ 担任は、原簿を基に所見を作成する。
- ⑥ 担任は、所見のデータを通知表作成ソフトに入力・プリントアウトし、通知表の台紙に貼り付ける個人票を作成する。
- ⑦ 作成された個人票と原簿を、学年内で照合する。
- ⑧ 作成された個人票と原簿を、管理職が照合する。
- ⑨ 担任は、修正が必要な場合は修正した上で個人票をプリントアウトし、再度確認の上、個人票を通知表の台紙に貼り付ける。
- ⑩ 管理職・担任が、最終確認し、通知表が完成される。

【中学校】

- ① 担任・教科担当は、日常の授業やテスト・作品などを評価し、生徒一人ひとりの評価資料を作成する。
- ② 教科担当は、生徒一人ひとりの評価資料の数値を成績処理ソフトに入力し、自動計算によって評価・評定を決定する。また、担任は、所見や特別活動の記録、出欠席の記録などを別のソフトに入力する。この2つのデータをプリントアウトしたものが原簿となる。
- ③ 生徒一人ひとりの評価資料とプリントアウトされた原簿を、担任と学年主任が照合する。
- ④ 学年内の成績担当は、プリントアウトした原簿のデータを通知表作成ソフトに反映させ、プリントアウトし、通知表の台紙に貼り付ける個人票を作成する。
- ⑤ 作成された個人票と原簿を、管理職・学年主任が照合する。
- ⑥ 学年内の成績担当は、修正が必要な場合は修正した上で個人票をプリントアウトし、担任は、再度確認の上、個人票を通知表の台紙に貼り付ける。
- ⑦ 管理職・担任は、最終確認し、通知表が完成される。

3 原因

- (1) パソコンの入力ミスや操作ミス等、教職員一人ひとりの不注意によるもの。
- (2) チェック体制が機能しなかったこと、教職員の危機管理意識の欠如によるもの。
- (3) パソコンソフトの機能が不十分であることによるもの。

4 その後の対応

- (1) 小中学校全校において、管理職と担任が、保護者から戻り学校で保管している前期の通知表の総点検を行い、11月8日（火）までに教育委員会に報告があった。
- (2) 通知表作成時の意識向上に向けて、教育委員会の指導主事が、10月26日から11月2日の間に全校を訪問し、教育長の通知文（注意喚起文書）を全教職員に配付するとともに、直接指導に当たった。
- (3) 専門家を招いた通知表事故調査委員会を立ち上げ（11月21日）、通知表作成時のチェック体制の再検討やチェックシートの作成などを行い、その検討結果を各校に提示していく。
- (4) 通知表作成ソフトについては、現在使用しているパソコンソフトの検証を行うとともに、併せて、自動チェック機能のある市販パソコンソフトの導入について検討を行う。

5 事故の概要

(1) 既公表分

① 平成22年度

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
早川小 (28名)	① 4年 30代・男	① 2教科評定の記載誤り (25名) (延べ28名) …保護者の訴えにより発覚	① 通知表作成ソフトへの入力時の操作ミスと確認ミス
富士見小 (40名)	① 5年 40代・男	① 家庭科評定欄と外国語活動評価欄が未記入 (40名) …児童の訴えにより発覚	① 通知表作成ソフトからの印刷ミスと確認ミス
国府津中 (36名)	① 2年 40代・女	① 所見欄の記載誤り (36名)	① 通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス

② 平成23年度

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
芦子小 (1名)	① 6年 20代・男	① 家庭科評定欄と外国語活動評価欄が未記入 (1名) …児童の訴えにより発覚	① 通知表作成ソフトからの印刷ミスと確認ミス
酒匂小 (2名)	① 2年 50代・女 ② 3年 30代・男	① 氏名欄の表記誤り (1名) ② 生活の様子欄の記載誤り (1名)	① 通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス ② 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
報徳小 (8名)	① 1年 50代・女	① 欠席日数の記載誤り (8名) …保護者の訴えにより発覚	① 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
豊川小 (26名)	① 1年 30代・男	① 出席日数の記載誤り (26名) …保護者の訴えにより発覚	① 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
白山中 (16名)	① 1年 50代・男 ② 1年 20代・女 ③ 1年 50代・男 ④ 1年 20代・男 ⑤ 2年 50代・男 ⑥ 2年 30代・男 ⑦ 3年 60代・男	① 特別活動欄の記載誤り (1名) …生徒の訴えにより発覚 ② 特別活動欄の記載誤り (1名) …生徒の訴えにより発覚 ③ 欠席日数の記載誤り (1名) …保護者の訴えにより発覚 ④ 忌引き日数の記載誤り (1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑤-1 遅刻日数の記載誤り (1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑤-2 特別活動欄の記載誤り (1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑥ 欠席日数の記載誤り (1名) …生徒の訴えにより発覚 ⑦ 評定の記載誤り (9名) …生徒の訴えにより発覚	①～⑦ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
千代中 (3名)	① 1年 50代・男	① 評定の記載誤り (3名) …生徒の訴えにより発覚	① 評価評定ソフトへの入力ミスと確認ミス
国府津中 (2名)	① 2年 20代・男	① 欠席日数の記載誤り (2名) …生徒の訴えにより発覚	① 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
城北中 (17名)	① 1年 50代・男 ② 2年 30代・男	① 特別活動欄の記載誤り (2名) ② 「総合的な学習の時間」記録欄の記載誤り (15名) …生徒の訴えにより発覚	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス

(2) 総点検分

① 平成23年度

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
新玉小 (6名)	① 1年 50代・女 ② 2年 40代・女 ③ 3年 20代・男 ④ 4年 30代・女 ⑤ 5年 30代・男	①欠席日数の記載誤り (1名) ②欠席日数の記載誤り (2名) ③欠席日数の記載誤り (1名) ④欠席日数の記載誤り (1名) ⑤欠席日数の記載誤り (1名)	健康観察板から出席簿への転記ミス ②～⑤ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
足柄小 (5名)	① 1年 20代・女 ② 1年 40代・女 ③ 2年 30代・女	①「欠席日数」を「出停・忌引」の欄に入力 (3名) ②「欠席日数」を「出停・忌引」の欄に入力 (1名) ③欠席日数の記載誤り (1名)	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス ③最終確認のミス
芦子小 (9名)	① 1年 20代・女 ② 1年 20代・男 ③ 1年 40代・女 ④ 3年 30代・男 ⑤ 6年 50代・女 ⑥ 3年 20代・女 ⑦ 2年 50代・女	①欠席日数の記載誤り (2名) ②忌引日数の記載誤り (1名) ③出席日数の記載誤り (1名) ④「欠席日数」を「出停・忌引」の欄に入力 (1名) ⑤欠席日数の記載誤り (2名) ⑥係名の記載誤り (1名) ⑦児童名の表記誤り (1名)	①～②・④～⑥ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス 手書きによる転記ミス ⑦通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス
大窪小 (18名)	① 1年 50代・女 ② 2年 40代・女 ③ 2年 40代・女 ④ 3年 30代・男 ⑤ 4年 40代・男 ⑥ 4年 20代・女 ⑦ 5年 20代・女 ⑧ 6年 40代・女	①欠席日数の記載誤り (2名) ②欠席日数の記載誤り (1名) ③欠席日数の記載誤り (6名) ④欠席日数の記載誤り (2名) ⑤欠席日数の記載誤り (2名) ⑥欠席日数の記載誤り (1名) ⑦欠席日数の記載誤り (2名) ⑧欠席日数の記載誤り (2名)	①～⑧ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
早川小 (8名)	① 1年 50代・男 ② 4年 30代・男 ③ 5年 50代・女 ④ 6年 40代・男	①-1 係名の未記入 (1名) ①-2 欠席日数の記載誤り (1名) ②欠席日数の記載誤り (2名) …児童の訴えにより発覚 ③欠席日数の記載誤り (1名) ④欠席日数の記載誤り (3名)	①～④ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
富水小 (1名)	① 2年 50代・女	①欠席日数の記載誤り (1名) …保護者の訴えにより発覚	①通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
下府中小 (41名)	① 1年 40代・女 ② 2年 20代・女 ③ 3年 20代・男 ④ 3年 40代・女 ⑤ 4年 20代・女 ⑥ 4年 50代・女 ⑦ 4年 40代・女 ⑧ 5年 40代・男 ⑨ 6年 30代・男 ⑩ 6年 30代・男	①欠席日数の記載誤り (4名) ②欠席日数の記載誤り (20名) …保護者の訴えにより発覚 ③欠席日数の記載誤り (3名) ④欠席日数の記載誤り (2名) ⑤欠席日数の記載誤り (2名) ⑥欠席日数の記載誤り (1名) ⑦欠席日数の記載誤り (1名) ⑧欠席日数の記載誤り (5名) ⑨欠席日数の記載誤り (2名) ⑩欠席日数の記載誤り (1名)	①・④・⑤ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス ③・⑥・⑦・⑩ 健康観察板から出席簿への転記ミス ②・⑧・⑨ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミスもしくは健康観察板から出席簿への転記ミス
桜井小 (2名)	① 1年 50代・女 ② 2年 40代・女	① 欠席日数の記載誤り (1名) …保護者の訴えにより発覚 ② 欠席日数の記載誤り (1名) …保護者の訴えにより発覚	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
下曾我小 (4名)	① 1年 30代・女 ② 2年 50代・女 ③ 6年 30代・女	①欠席日数の記載誤り (1名) ②-1 欠席日数の記載誤り (1名) ②-2 他の児童の個人票を貼付 (1名) ③欠席日数の記載誤り (1名)	①・③ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス ②健康観察板から出席簿への転記ミス及び貼付ミスと最終確認のミス

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
国府津小 (15名)	①1年 40代・女 ②2年 30代・女 ③2年 30代・女 ④3年 20代・男 ⑤3年 30代・女 ⑥4年 30代・女 ⑦5年 20代・女 ⑧6年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(4名) ②欠席日数の記載誤り(2名) ③欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥欠席日数の記載誤り(3名) ⑦児童名の表記誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ⑧欠席日数の記載誤り(1名)	①～⑥・⑧ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス ⑦通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス
酒匂小 (42名)	①1年 20代・女 ②1年 20代・女 ③2年 30代・女 ④3年 30代・男 ⑤4年 30代・男 ⑥6年 40代・女 ⑦6年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③児童名の表記誤り(1名) ④-1 欠席日数の記載誤り(2名) ④-2 係名の記載誤り(1名) ⑤欠席日数の記載誤り(6名) ⑥欠席日数の記載誤り(28名) ⑦欠席日数の記載誤り(2名)	①・⑦ 健康観察板から出席簿への転記ミス ②・④～⑥ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス ③通知表作成ソフトへの入力ミスと確認ミス
曾我小 (3名)	①2年 30代・男 ②3年 20代・男 ③6年 40代・女	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③クラブ名の記載誤り(1名) …児童の訴えにより発覚	①～③ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
矢作小 (27名)	①1年 50代・女 ②2年 50代・男 ③3年 40代・女 ④4年 40代・男 ⑤4年 30代・男 ⑥5年 20代・女 ⑦6年 40代・女 ⑧6年 20代・男 ⑨6年 30代・男	①特別活動欄の未記入(1名) ②欠席日数の記載誤り(3名) ③欠席日数の記載誤り(1名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥欠席日数の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(3名) ⑧-1 欠席日数の記載誤り(1名) ⑧-2 所見欄の途中で文章が切れて読めない(12名) ⑨-1 委員会名の記載誤り(1名) ⑨-2 所見欄の途中で文章が切れて読めない(1名)	①～⑨ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
報徳小 (13名)	①1年 20代・女 ②3年 50代・男 ③3年 40代・女 ④4年 30代・女 ⑤4年 30代・男 ⑥5年 40代・男 ⑦6年 50代・女	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③欠席日数の記載誤り(3名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥クラブ名の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(4名)	①～⑦ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
豊川小 (20名)	①1年 50代・女 ②1年 20代・女 ③2年 40代・男 ④4年 50代・女 ⑤4年 40代・女 ⑥4年 30代・男 ⑦5年 50代・女 ⑧5年 20代・男	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(1名) ③欠席日数の記載誤り(4名) ④欠席日数の記載誤り(1名) ⑤欠席日数の記載誤り(2名) ⑥欠席日数の記載誤り(1名) ⑦欠席日数の記載誤り(8名) ⑧欠席日数の記載誤り(2名)	①～⑧ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
前羽小 (12名)	①1年 30代・女 ②6年 40代・男	①欠席日数の記載誤り(1名) ②欠席日数の記載誤り(11名)	①～② 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス
下中小 (37名)	①2年 40代・女 ②3年 30代・男 ③3年 20代・男 ④3年 30代・女 ⑤5年 40代・男	①欠席日数の記載誤り(3名) ②出席日数の記載誤り(27名) ③欠席日数の記載誤り(3名) ④欠席日数の記載誤り(2名) ⑤欠席日数の記載誤り(2名)	①～⑤ 通知表作成ソフトへの入力時の転記ミスと確認ミス

学校名 (該当児童生徒数 計)	当事者の年代	事故の状況 (該当児童生徒数)	原因
千代中 (2名)	①1年 40代・男 ②1年 50代・男	①評定の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚 ②欠席日数の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚	①評価資料の作成時に同じ名 字の生徒と間違えた ②通知表作成ソフトへの入力 時の転記ミスと確認ミス
泉中 (43名)	①1年 30代・男 ②2年 30代・女 ③2年 30代・女 ④3年 30代・男	①欠席日数の記載誤り(2名) ②特別活動欄の記載誤り(1名) ③遅刻・早退数の記載誤り(1名) ④出席日数の記載誤り(39名)	①～④ 通知表作成ソフトへの入力時 の転記ミスと確認ミス
城北中 (1名)	①1年 40代・男	①早退欄の記載誤り(1名) …保護者の訴えにより発覚	①出席簿への記入ミス
特別支援学級 (11名)	①30代・女 ②50代・男 ③50代・女 ④20代・女 ⑤60代・男 ⑥40代・女	①欠席日数の記載誤り(2名) ②他の児童の個人票を貼付(1名) …保護者の訴えにより発覚 ③クラブ名の未記入(1名) ④欠席日数の記載誤り(5名) ⑤欠席日数の記載誤り(1名) ⑥出欠席日数の記載誤り(1名)	①手書きによる転記ミス ②貼付ミスと最終確認のミス ③～⑧通知表作成ソフトへの 入力時の転記ミスと確認ミス

(3) 合計

① 既公表分

		当事者数(教員)	事故件数	該当児童生徒数
小学校	6校	小学校 7名	小学校 7件	105名
中学校	4校	中学校 12名	中学校 12件	74名
		計 19名	計 19件	179名

② 総点検分

		当事者数(教員)	事故件数	該当児童生徒数
小学校	17校	小学校 92名	小学校 97件	263名
中学校	3校	中学校 7名	中学校 7件	46名
特別支援学級 小学校6学級		特別支援学級 6名	特別支援学級 6件	11名
		計 105名	計 110件	320名

③ 総合計

		当事者数(教員)	事故件数	該当児童生徒数
小学校	23校(18校)	小学校 99名	小学校 104件	368名
中学校	7校(5校)	中学校 19名	中学校 19件	120名
特別支援学級 小学校6学級		特別支援学級 6名	特別支援学 6件	11名
※()数字は実質の学校数		計 124名	計 129件	499名

<事故の状況別該当児童・生徒数>

	既公表分			総点検分			
	小	中	計	小	中	計	
出欠席の誤記入	34	6	40	246	44	290	330名
特別活動等の誤記入	0	5	5	10	1	11	16名
氏名の表記のミス	1	0	1	3	0	3	4名
個人票の貼り付けに関するミス	0	0	0	2	0	2	2名
所見等の誤記入	1	51	52	13	0	13	65名
評価・評定のミス	28	12	40	0	1	1	41名
シートの立ち上げミス	41	0	41	0	0	0	41名
	105	74	179	274	46	320	499名

平成23年10月24日

各小・中学校教職員 各位

小田原市教育委員会
教育長 前田 輝男

通知表作成時の対応について

＜教育長からのコメント＞

昨年度・今年度と、2年続けて通知表の誤記入の事故が発生してしまいました。

同じ教職に携わる者として、このような事故が発生したことを残念に思うとともに、悔しく悲しい思いであります。

今回の件により、子どもたちや保護者、そして社会に対して、心の糸、信頼の糸が失墜することは避けられない事実であり、信頼と信用を取り戻すには、大変な時間を要するものと思います。

その回復に向けて、全教職員は、指導から評価に至る一連の教育課程の実施に、強い**責任感**と**使命感**を持ってあたるとともに、今後、このような事故が二度とあってはならないことを強く認識し、「自分には間違いがあるぞ」といった**危機感**を持って、目前の子どもたちの姿を思い浮かべながら、正確な通知表の作成、並びに、チェック体制の強化に努めてください。

小田原市教育長

＜通知表作成時のキーワード＞

- ☆【使命感】 担任（担当）の管理する資料は、正確なものであること。
- ☆【責任感】 担任（担当）の管理する資料から原簿に転記するときは、慎重に行うこと。
- ☆【危機感】 完成版は、目前の子どもたちの姿を思い浮かべながら、複数で再確認すること。

＜今後の対応＞

- 1 「通知表の誤記入ゼロ」に向けて、全校で、通知表の総点検をする。管理職と担任が、学校で保管されている前期の通知表を11月8日（火）までに点検し、市教育委員会に報告する。
- 2 通知表作成時の意識向上に向けて、教育委員会の指導主事が、今後1週間以内に全校を訪問し、教育長から全教職員宛の注意喚起文書（本書）を元に、直接教職員の指導にあたる。
- 3 通知表作成時のチェック体制の強化に向けて、教育委員会が、専門家を招いた**通知表作成委員会（仮称）**を立ち上げ、12月までに、チェック体制の再検討やチェックシートの作成を行い、その検討結果を各校に提示していく。
- 4 最適な通知表作成ソフトの導入に向けて、現在使用しているパソコン・ソフトでよいかどうかを検討するとともに、自動チェックができる機能のある**市販パソコン・ソフトの導入を含めた検討**をしていく。